

令和6年度 日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業「文化資源活用推進事業」事例集<概要版>

事業の目的

本事業は、文化芸術や観光分野の専門人材を軸として、地域のアーティスト、住民や芸・産学官との連携協力体制を構築し、日本博2.0を契機として地域の文化芸術資源を活用した新しい時代のインバウンド需要に資する文化芸術事業を積極的に支援。それに併せて、観光分野等の専門家による検討及び助言等の伴走型支援を実施し、魅力ある文化芸術活動の持続的・発展的実施を図る。

	採択事業の概要	事業推進における課題	専門家の提言（抜粋）	事業への反映
札幌市	「国際的な音楽祭「PMF」を活用した地域文化芸術の振興及び国内外観光客の誘致事業」 30年以上の歴史を持つ国際的な教育音楽祭であるPMF（Pacific Music Festival）を活用し、国内外の観光客等に向けた演奏会事業、若手音楽家の教育事業や地域・子供への音楽普及事業等を実施	✓ 想定顧客（クラシック好き等）の認知をどのように拡大するか	▶ 情報発信は媒体の棲み分けを意識する ▶ 非言語な「音」を活用して地域・エリア内で魅力発信する	専門チームによる戦略的なSNS発信やJR札幌駅でのコンサートなど、PMFを知らない方にリーチするきっかけとしてのコンサートを継続・拡大して実施
		✓ 企業からの協力・支援をどのように拡大するか	▶ 企業がイベントを支援する理由を明確に示す	企業版ふるさと納税制度を活用、同制度での協力依頼を開始
京都市	「KYOTO×Media Performing Arts ～古都で交わる伝統と現代～」 京都市が総合プロデュースを行い、岡崎地域を中心にメディア芸術、舞台芸術、美術と京都ならではの文化・観光資源を融合させた総合文化芸術事業（「京都国際マンガ・アニメフェア」等）を展開	✓ どのように、継続的に（各イベントへの）来場者を確保するか	▶ 再来訪を促すため、顧客と継続的に関係づくりを行う	複数イベントを集約したティザーサイトを公開 複数のイベントを共通のコンセプトやブランディングで実施していることを発信
		✓ 企業からの協力・支援をどのように拡大するか	▶ 地域内・テーマと関連した事業者へ営業活動を拡大する	コンテンツ事業者を中心に協賛を依頼、企業版ふるさと納税制度活用等にも着手
別府市	「別府市を起点とした大分県の地域文化資源活用推進事業」 大分県の文化観光のハブ(拠点)としての別府市を目指し、市内を舞台としたアート作品展示「ALTERNATIVE-STATE」や若手アーティストが集う「Art Fair Beppu プレ」等、拠点性・周遊性を高めるプロジェクトを展開	✓ インバウンドのアートファンへどのように情報をリーチするか	▶ ターゲット層が読者・ユーザーのメディアで発信する	ターゲット国の現地の美術館にイベント情報を連携
		✓ 旅ナカの旅行客の興味関心・訪問意欲をどのように醸成するか	▶ 既存の作品をより楽しめる・自分で発信したくなる磨き上げに取り組む	地域への観光来訪者の周遊拠点（駅前の観光案内所）でのチケット販売を開始

伴走型支援

※詳細（事業内容、個別事業の課題、解決策や専門家の提言等）は、事例集本編をご参照ください。